

令和7年度

事業報告書



社会福祉法人

鵜川慶寿会

社会福祉法人鵜川慶寿会総括事業報告

在宅サービスの充実を目的として、令和8年1月1日より訪問入浴サービス事業を開始しました。事業開始にあたっては、職員体制の整備、機材の導入、関係機関との連携構築を行い、円滑なサービス提供体制を整備しました。開始後は利用者の確保およびサービスの質の向上に努め、3月までに7件の利用実績を得ました。

鵜川慶寿苑においては、人材確保が厳しい状況が続く中、外国人介護人材4名を採用し、介護サービス提供体制の維持および稼働率の向上に取り組みました。また、日本人からの応募もあり、将来を見据えた人材確保を図ることができました。

さらに、自然災害や感染症発生時においても事業継続が可能となるよう、業務継続計画（BCP）に基づく訓練を計画的に実施しました。訓練を通じて課題の抽出と改善を行い、組織全体の対応力の向上を図りました。

1 組織の連携強化

評議員会および監事監査については、計画どおり実施しました。新規事業の立ち上げに向け、理事会については当初予定を上回る回数を開催し、事業内容等について検討を重ねました。

また、法人本部会議を毎月開催し、各事業所の課題を共有・検討するとともに、事業所の安定的な運営および新規事業の推進に向けた協議を行いました。

2 地域における公益的な取り組み

1. 認知症サポーター養成講座へ生活相談員を派遣し、地域における認知症理解の促進に寄与しました。
2. 鵜川中学校および高校の生徒を受け入れ、介護体験を実施し、福祉教育および介護人材の育成支援に努めました。
3. むかわ町社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」に職員4名を派遣し、地域福祉活動への協力を行いました。
4. 夏祭りには、キッチンカーの出店や、ダンスクラブ、よさこい演者等の協力を得て、地域住民との交流促進を図りました。

3 研修の推進

役員・評議員の研修会受講には至りませんでした。理事会において適宜情報提供を行い、必要な知識の共有に努めました。

4 ハラスメント対策

カスタマーハラスメントに関する指針を策定し、ハラスメント防止の取り組みとあわせて職員へ周知を行い、職場環境の改善に努めました。

5 業務省力化

給与明細について、紙媒体から電子送信システムへ移行し、事務処理の効率化およびコスト削減、ペーパーレス化の推進を図りました。

法人本部事業報告

(1) 事業経過報告

年月日	事業内容	摘要
R7.4.1	令和7年度辞令交付式(胆振東部鵠川慶寿苑)	理事長
R7.5.15	令和7年度第1回監事監査(決算監査)	監事2名、理事長
R7.6.18	令和7年度第1回評議員会	四季の館2階会議室
R7.6.18	令和7年度第2回理事会	四季の館2階会議室
R7.8.22	令和7年度第2回監事監査	監事2名、理事長
R7.8.27	令和7年度第3回理事会	鵠川慶寿苑
R7.9.17	令和7年度第4回理事会	鵠川慶寿苑
R7.11.26	令和7年度第3回監事監査	監事2名、理事長
R7.12.8	令和7年度第5回理事会	鵠川慶寿苑
R8.2.24	令和7年度第4回監事監査	監事2名、理事長
R8.3.24	令和7年度第6回理事会	鵠川慶寿苑

(2) 職員の採用、退職

1. 採用

特別養護老人ホーム胆振東部鵠川慶寿苑

看護職員1名(常勤)、介護職員9名(常勤9名内外国人5名)、介護補助員1名(非常勤)

グループホームふきのとう

介護職員2名(常勤1名、非常勤1名)

2. 退職

特別養護老人ホーム胆振東部鵠川慶寿苑

看護職員1名(非常勤)、介護職員3名(常勤2名内外国人1名、非常勤1名)、

介護支援専門員1名(常勤)

グループホームふきのとう

介護職員2名(常勤1名、非常勤1名)

こごみ荘

宿直2名(非常勤2名)

(3) 理事会開催状況

期日	会場	理事会	主 な 議 題
7.5.22	鶴川慶寿苑	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人並びに事業所の運営状況について ・ 職員数及び職員の採用、退職状況について ・ 監事監査報告について ・ 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成に係る助成申請について ・ 任期満了に伴う次期評議員選任・解任委員会委員の選任について ・ 任期満了に伴う次期評議員候補者の選任について ・ 令和6年度事業報告並びに決算報告について ・ 令和6年度社会福祉充実残額の算定について ・ 監事監査報告（決算報告）について ・ 定款変更認可申請（案）について ・ 令和7年度定時評議員会の日時、会場及び議案について ・ 任期満了に伴う次期役員（理事・監事）候補者について
7.6.18	四季の館2階会議室	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の業務執行状況報告について ・ 役員（理事・監事）の選任について ・ 理事長の選定について ・ 令和7年度第1回補正予算（案）について ・ 見守りカメラ運用規程（案）について
7.8.27	鶴川慶寿苑	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人並びに事業所の運営状況について ・ 職員の採用、退職状況について ・ 令和7年度予算執行状況について ・ 監事監査報告について ・ 経理規程の一部改正（案）について ・ 第2回補正予算（案）について ・ 旅費規程の一部改正（案）について
7.9.17	鶴川慶寿苑	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問入浴介護事業のスケジュールと名称について ・ 訪問入浴介護事業計画（案）について ・ 訪問入浴介護の運営規定（案）について ・ 訪問入浴介護の契約書（案）及び重要事項説明書（案）について ・ 訪問入浴介護のBCP（案）について ・ 第3回補正予算書（案）について

7.12.8	四季の館 2 階会議室	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに事業所の運営状況について ・理事長の業務執行状況報告について ・職員の採用、退職状況について ・監事監査報告について ・訪問入浴介護ふらす+進捗状況と今後の予定について ・高齢者共同生活住宅ごみ荘管理者変更について ・グループホームふきのとう運営規程の一部改正(案)について ・訪問入浴介護事業の融資に係る担保設定について
8.3.24	鶴川慶寿苑	第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに事業所の運営状況について ・職員の採用、退職状況について ・介護サービス事業者の指定更新について ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成による事業整備について(完了報告) ・令和7年度介護ロボット導入支援事業補助金の不採択について ・監事監査報告について ・就業規則の一部改正(案)について ・経理規程の一部改正(案)について ・旅費規程の一部改正(案)について ・令和7年度第4回補正予算書(案)について ・令和8年度事業計画書(案)について ・令和8年度収支予算書(案)について

(4) 評議員会開催状況

期日	会場	評議員会	主 な 議 題
7.6.18	四季の館 2 階会議室	定時	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任(欠員補充)報告について ・令和6年度事業報告について ・任期満了に伴う次期評議員選任・解任委員会委員の選任報告について ・任期満了に伴う次期評議員の選任報告について ・令和6年度決算報告について(計算書類及び財産目録の承認) ・令和6年度決算に係る社会福祉充実残額の算定報告について ・監事監査報告(決算監査)について ・資産総額の変更登記について ・定款変更認可申請(案)について ・任期満了に伴う次期役員(理事・監事)の選任について ・令和7年度事業計画書及び収支予算書について

(5) 監事監査の実施状況

期日	会場	回	監査実施項目
7.5.15	鵜川慶寿苑 癒しの間	第1回	定款、諸規程、役員、予算、決算、資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、人事管理、利用者預り金、事業報告書
7.8.22	鵜川慶寿苑 癒しの間	第2回	予算、資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、利用者預り金
7.11.26	鵜川慶寿苑 癒しの間	第3回	予算、資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、人事管理、利用者預り金
8.2.24	鵜川慶寿苑 癒しの間	第4回	定款、資産管理、会計経理、理事会・評議員会、利用者預り金

(6) 第三者委員会の開催状況

期日	会場	主 な 議 題
7.12.4	鵜川慶寿苑癒しの間	・相談、苦情の受付け状況について ・利用者の事故等について

(7) 入居検討委員会の開催状況

期日	会場	回	主 な 議 題
7.4.22	鵜川慶寿苑 癒しの間	第1回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について
7.6.17	鵜川慶寿苑 癒しの間	第2回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について
7.9.16	鵜川慶寿苑 癒しの間	第3回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について
7.12.4	鵜川慶寿苑 癒しの間	第4回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について
8.3.16	鵜川慶寿苑 癒しの間	第5回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について

胆振東部鷗川慶寿苑事業報告

前年度と比較して稼働率は約4ポイント上昇し66.6人となりましたが、目標としていた67人には届きませんでした。主な要因として、入院患者の増加があり、年間入院外泊日数は1,745日となりました。入所調整において入院を一定程度見込んでいましたが、想定を上回る入院者の増加により稼働率に影響が生じました。短期入所生活介護については、年間250日の利用を予定していましたが、実績は233日となりました。

人材確保については、インドネシア人介護職員4名を4月に採用し、うち1名が5月に退職しましたが、11月に新たに1名を採用しました。これにより一定の介護職員数を確保しました。また、日本人からの自己応募もあり、新たに3名を採用し、職員体制の強化につなげました。

職場環境の改善として、新たに入浴機器1台およびエアコンを整備しました。入浴機器については自動洗浄機能付き浴槽を導入し、入浴介助業務の負担軽減を図りました。エアコンについては2階居室、医務室およびサンルームに設置し、入所者および職員双方の環境改善を行いました。

自然災害や感染症発生時においても事業継続が可能となるよう、業務継続計画（BCP）に基づく訓練を計画的に実施しました。訓練を通じて課題の抽出と改善を行い、組織全体の対応力向上を図りました。

（1）事業内容報告

1. 稼働率向上の経営

職員の採用および定着に向けた取り組みを行い、外国人を含め計11名を採用することで、入所受入れ体制の維持に努めました。

入院者の状況については随時把握を行い、退院後の速やかな入所調整に努めました。入院者数の増加により調整に課題も見られました。

また、入所申込者の確保に向けて、在宅事業所および医療機関との連携を継続し、情報共有および入所相談の円滑化を図りました。

2. 職員確保と定着

外国人介護職員を4名採用し、職員全体での支援体制のもと受入れを行いました。これにより、多様な人材による職員体制の強化につなげました。

職員の定着化および人材育成のため、各種研修会への参加および資格取得支援を行い、介護人材の育成に取り組みました。

介護ロボットの活用については導入を進め、業務の負担軽減および省力化に向けた環境整備を図りました。

福利厚生充実として、休憩ルームにエアコンおよび飲料サーバーを設置し、職員の労働環境の改善を行いました。

3. 各種会議の実施

運営会議 全体研修 グループ会議 リーダー会議 サービス担当者会議 給食運営会議
個別訓練計画会議 栄養ケア会議 法人本部推進会議

4. 各委員会活動の実施

事故・虐待・拘束防止委員会 感染症対策委員会 排泄・褥瘡検討委員会 人材育成委員会

生産性向上委員会

5. 研修・学習事業の推進

(1) 施設内研修

入職時研修 事故予防・虐待予防 災害・緊急対応 感染症対策 介護知識と技術 看取り
ハラスメント対応

中西歯科医院 個別の口腔ケア確認と指導

(2) 施設外研修

研 修 内 容	人数
実務者研修	1
日胆地区老協施設長研修会	1
老人福祉施設研究発表会	1
特定給食施設等栄養管理担当者研修会	1
日胆地区老協職員研修会	2
介護現場生産性向上講習会	3
介護事業所生産性向上セミナー	1
認知症介護実践リーダー研修	1
ドクターメイト情報交換会	1
認知症介護実践研修	1
Care Tex 札幌見学	3
参加者計	16

6. 各職種の組織化への取組

介護現場においては、情報共有が十分に図れない場面が散見され、業務連携に課題がありました。この課題に対応するため、職種別組織体制の明確化および情報共有の強化を図り、サービス提供体制の改善に努めました。

7. 健康・感染予防

利用者の日常の健康状態および疾病の把握に努め、医療機関と連携しながら体調管理および心身の安定に取り組みました。

感染症対策として、消毒の徹底、面会の予約制による管理を継続的に実施し、感染予防に努めました。結果として、インフルエンザの発生はなく、新型コロナウイルス感染症については1名の発生にとどまり、施設内での感染拡大は見られませんでした。

また、感染症発生時に備え、個人防護具（PPE）の着脱訓練を実施し、感染対策体制の強化を図りました。

8. 食事の取り組み

食事については、利用者の心身の状態に応じて食事形態の調整を行い、個々の状態に配慮した食事サービスを提供しました。これにより、利用者の健康維持および生活の楽しみの確保につなげました。

食品衛生管理については、調理・配膳・保存過程における衛生管理の徹底および職員への注意喚

起を継続的に実施し、安全で衛生的な食事提供に努めました。結果として、食中毒の発生はありませんでした。

9. 権利擁護・身体拘束防止と虐待防止の取組

高齢者の尊厳の保持および人格の尊重を重視し、利用者の権利擁護に関する研修会を定期的を実施しました。これにより、職員の知識および理解の向上を図り、権利擁護に対する意識の定着につなげました。

また、身体拘束防止および虐待防止についても継続的に研修を実施し、適切なケアの実践および意識向上に努めました。

10. 災害への対応力強化

火災や震災等の災害から利用者の安全を確保するため、防災訓練および避難訓練を年2回実施しました（うち1回は自然災害を想定した訓練）。訓練を通じて、避難経路や初動対応の確認を行い、非常時対応力の向上を図りました。

また、業務継続計画（BCP）に基づく訓練についても実施し、災害発生時における事業継続体制の確認を行いました。

11. 地域貢献

オレンジカフェについては年6回開催し、地域住民の交流促進および認知症への理解向上を図りました。

また、地元小学校・中学校・高校および各種団体、ボランティア等の受け入れを行い、福祉・介護分野への理解促進および交流機会の提供に努めました。

さらに、「福祉・介護」のPR活動の一環として出前講座等を実施し、地域における福祉意識の向上および人材確保に向けた啓発活動を行いました。

12. 整備状況

令和7年度は特殊浴槽設備を中心とした投資を行っております。

整備日	整備・修繕内容	金額（税込）
R7.4	スポットクーラー14台	919,200
R7.5・6	仏間・居室ルーフトレン、床修繕工事	411,411
R7.5	エアコン2台設置	1,210,000
R7.6	冷蔵庫の更新	180,000
R7.8	業務用加湿器修理・点検（3カ所）	396,000
R7.11	シャワーポットアラエルシャワードーム（入浴装置）	8,441,180
R7.11	既存特殊浴槽設備の撤去	1,265,000
合計		12,822,791

利用者の構成とその状況

1. 在籍者

男性13名 女性58名 計71名

令和8年3月31日現在

むかわ町 61名		厚真町 2名		平取町 1名		日高町 5名		浦河町 1名		苫小牧市 1名	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
13	48	0	2	0	1	0	5	0	1	0	1

2. 年齢別状況

令和8年3月31日現在

区分	60～69	70～79	80～89	90～99	100以上	合計	平均年齢
男	0	3	1	9	0	13	87.9
女	0	2	26	24	6	58	90.4
合計	0	5	27	33	6	71	89.9

3. 在苑期間

令和8年3月31日現在

区分	6月未満	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10年以上	合計	平均期間
男	2	1	7	2	0	1	13	2年5か月
女	5	6	17	13	15	2	58	3年11カ月
合計	7	7	24	15	15	3	71	3年7カ月

4. 利用者の要介護度

令和8年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	5	5
要介護3	2	20	22
要介護4	3	14	17
要介護5	8	19	27
合計	13	58	71

5. 月別利用者状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月別	区分	入所	退所				入院 外泊	入所者数	延利用日数
			死亡	入院	自宅	その他			
令和7年	4月		1				198	72	1945
	5月	1		2			174	71	1981
	6月	1	1				67	70	2039
	7月	2					47	72	2178
	8月		1				197	72	2034
	9月	4	2				160	75	1986
	10月						163	73	2100
	11月	2	2				155	74	1997
	12月	1	3				194	73	2033
令和8年	1月	2	1				116	72	2065
	2月	2	1			1	52	73	1960
	3月	1		1			222	71	1970
合計		16	12	3		1	1745	868	24288

1日実利用者数 66.6人

6. 短期入所生活介護

令和7年4月1日～令和8年3月31日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	3	3	3	3	3	3	3	4	2	4	3	4	38
延べ日数	25	27	29	14	24	15	20	19	14	13	15	18	233

1日実利用者数 0.6人

7. 介護予防短期入所生活介護

令和7年4月1日～令和8年3月31日

利用実績なし。

むかわ町高齢者生活交流センター「ひだまりの里」

高齢者グループホームふきのとう事業報告

昨年度と比較して入院が多い一年となりました。入院日数は218日、退所から入所までの空床日数は110日で、稼働率は90.4%となりました。決算状況は約340万円の赤字となっております。仮に稼働率が100%であった場合でも赤字決算となる見込みであることから、設置者であるむかわ町と協議を行い、事業の見直しを図ってまいります。

日々の生活においては、感染症も発生することなく、様々な行事を行い、充実した日常を送ることができました。

1 サービスの向上

利用者の尊厳を守りながら、一人ひとりの状態に応じた介護計画に基づき、利用者主体の個別ケアの提供に努めました。日々のケアにおいては、利用者の意思や生活習慣を尊重し、状態の変化に応じた支援内容の見直しを行い、安心して生活できる環境づくりに取り組みました。

また、地域との関わりを大切にし、生き生きと過ごせる環境づくりを目指しました。

2 職員の育成と人財確保

認知症ケアに関する外部研修への参加を推進するとともに、施設内研修を実施し、職員の介護スキル向上に取り組みました。また、インスタグラムを活用し、グループホームの業務内容や出来事について情報発信を行いました。

(1) 職員会議・内部研修

スタッフ会議 ケア会議 事故予防・虐待予防 災害・緊急対応 感染症対策

(2) 外部研修の参加状況

研修内容	人数
認知症実践者研修	1
北海道認知症GH協会日胆ブロック研修会	1
参加者数	2

3 健康・衛生管理

利用者の日常の健康状態や既往歴、体調変化の把握に努め、必要に応じて医療機関と連携しながら、心身の安定と健康管理を行いました。

また、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症予防のため、手指消毒や施設内の環境整備などについて適切な感染対策を実施しました。感染症発生時に備え、个人防护具(PPE)の着脱訓練を行い、職員の対応力向上にも取り組みました。

4 災害対応・感染症対策

消防計画に基づき9月、3月に防火・防災訓練を実施し、避難誘導や初期対応の確認を行いました。また、BCPに基づく訓練を実施し、非常時用物品の確認や使用方法を確認しました。

5 地域との連携

買い物や散歩などの外出支援を行い、町内行事や地域イベントへの参加を通じて地域との交流を図りました。また、運営推進会議を概ね2か月に1回開催し、運営状況の報告および地域関係者からの助言を受けながら、地域に根ざした事業運営に努めました。

期日	協議内容
7.4.22	ふきのとうの動向について、入居者様の状況について、職員の状況について、令和7年度事業計画について、令和7年度収支予算について
7.6.17	ふきのとうの動向について、入居者様の状況について、令和6年度ふきのとう事業報告について、令和6年度ふきのとう決算報告について、見守りカメラの設置について
7.7.5	懇談会
7.9.29	ふきのとうの動向について、入居者様の状況について、職員の状況について、見守りカメラの設置について、介護ロボットの導入について
7.12.4	ふきのとうの動向について、入居者様の状況について、職員の状況について、予算執行状況について、介護ロボットの導入について、見守りカメラの設置について外部評価の結果について
8.3.27	ふきのとうの動向について、入居者様の状況について、職員の状況について、介護ロボット導入支援事業費補助金の不採択について、予算執行状況について、令和8年度事業計画・予算について

6 相談、苦情解決、虐待の防止

苦情受付体制および第三者相談窓口を掲示し、苦情発生時にはマニュアルに基づき迅速な対応を行いました。また、権利擁護・身体拘束防止・虐待防止に関する研修を実施し、職員の理解促進と適切なケアの提供に努めました。

7 建物管理・環境管理

予定していた見守りセンサーは補助金が不採択となり導入に至りませんでした。

利用者の構成とその状況

1. 在籍利用者

令和8年3月31日現在

年齢 性別	～69	70～79	80～89	90～99	100～	合計	平均年齢
男性	0	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	2	4	2	8	93
合計	0	0	2	4	2	8	93

2. 入居期間調

令和8年3月31日現在

年数 性別	1年未満	1年～3年	3年～5年	5年～	合計	平均期間
男性	0	0	0	0	0	
女性	1	4	3	0	8	2年1カ月
合計	1	4	3	0	8	2年1カ月

3. 介護度別認知症高齢者日常生活自立度

令和8年3月31日現在

自立度 要介護度	I	II	III	IV	M	合計
要介護1	0	4	1	0	0	5
要介護2	0	1	0	0	0	1
要介護3	0	2	0	0	0	2
要介護4	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	0	7	1	0	0	8

4. 月別利用者状況調

令和7年4月1日～令和8年3月31日

年月	区分	入居	退居			入院	外泊	利用者数	延べ利用 日数
			他施設	入 院	その他				
令和 7年	4月	0	0	0	0	15	0	9	255
	5月	0	0	0	0	31	0	9	248
	6月	1	1	0	0	39	0	9	219
	7月	0	0	0	0	22	0	9	257
	8月	0	0	1	0	31	0	9	248
	9月	0	0	0	1	0	0	8	240
	10月	1	1	0	0	0	0	9	275
	11月	0	0	0	0	9	0	9	261
	12月	0	0	0	1	22	0	8	231
令和 8年	1月	1	0	0	0	19	0	9	230
	2月	0	0	0	0	0	0	9	252
	3月	0	0	0	1	30	0	9	241
	合 計	3	2	0	2	218	0	106	2,957

1日実利用者数8.1人

高齢者共同生活住宅こごみ荘事業報告

令和7年度は空室が多く、入居者募集を行いました。満床には至らず、稼働率は81.8%となりました。

地域との交流においては、昨年度から開始したフレイル体操や地域サロン「なかよし広場」を通じて交流を深めました。

また、交流広場については、現在2つの団体にご利用いただいております。

1 地域との交流と健康

なかよし広場、フレイル体操などボランティア等に來ていただき、交流を図りました。体育館の利用については2つの団体が利用されています。

2 感染対策と災害対策

感染症の発生はありませんでした。災害対策は、年2回、消防立入検査と消防設備点検を実施。また、地震発生時は職員が駆け付け、安全確認を行っております。

3 サービスの質の向上

運営懇談会を開催し、さまざまなご意見を頂戴いたしました。今後は、可能な範囲で改善に努めてまいります。

4 住み替えの支援

日常生活に支援が必要となった際は、ご家族様や担当ケアマネジャーと連絡調整を行い、対応いたしました。1名がグループホームふきのとうへ住み替えしております。

5 管理宿直体制の見直し

令和7年6月にALSOKと契約し、夜間緊急通報システムや監視カメラ、電子錠等を設置するとともに、宿直体制を変更しました。

1. 年齢別状況

令和8年3月31日現在

区分	人数	70～79	80～89	90～99	合計	平均年齢
男	4	1	2	1	4	85.8
女	12	0	7	5	12	88.7
合計	16	1	9	6	16	87.3

2. 入居期間

令和8年3月31日現在

区分	6月未満	1年未満	1～3年	3～5年	5年以上	合計	平均期間
男	0	1	2	0	1	4	2年2か月
女	1	0	3	4	4	12	4年4か月
合計	1	1	5	4	5	16	3年3か月

3. 月別入居者状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

	入居	退去			入院 外泊等	入居者数	延入居日数
		他施設	入院	家庭			
令和7年 4月	0	0	0	1	26	19	544
5月	0	0	0	0	5	18	553
6月	0	0	0	0	17	18	523
7月	1	0	0	0	22	19	567
8月	0	0	1	0	7	19	551
9月	0	1	0	0	74	19	481
10月	0	1	1	0	10	18	491
11月	0	1	0	0	11	17	469
12月	0	0	0	0	13	15	452
令和8年 1月	0	0	0	0	20	15	445
2月	1	0	1	0	17	16	405
3月	0	0	0	0	8	16	488
合計	2	3	3	1	230	209	5,969

1日実利用者数 17.41人

訪問入浴介護ぷらす+事業報告

令和8年1月1日より、訪問入浴介護ぷらす+を開始しました。開始後は3月までの間、活動範囲であるむかわ町、厚真町、平取町、日高町、苫小牧市の各居宅介護支援事業所を訪問し、訪問入浴事業のあいさつおよび紹介活動を行いました。

また、各市町村のケアマネジャー連絡協議会にも出席し、訪問入浴サービスについて周知を図りました。

その結果、3月末時点で、お試し利用を含め7名の方にご利用いただきました。

1. 月別利用状況

令和8年1月1日～令和8年3月31日

	むかわ町		苫小牧市	
	お試し	契約利用	お試し	契約利用
令和8年1月	0	0	0	0
2月	0	1	0	0
3月	0	2	4	1

